

OSC2011Tokyo/Fall 翻訳/L10n BoF の葉

開催概要

オープンソースカンファレンス 2011 Tokyo/Fall セミナー枠で開催

日時: 2011/11/20 (日) 10:00 ~ 11:45 (2 コマ連続)

場所: 明星大学 28 号館

担当: Doc-ja Archive Project

お題: プロジェクト間の連携

出没するらしいひと

かずはまさん (Ubuntu とか GNOME とか)

まつざわさん (Ubuntu とか GNOME とか)

おかの (司会とか GNOME とか)

おかのメモ

昔 (1990 年代?)

- オンラインマニュアルの翻訳で、成果物の共有とか共同作業とか
 - NetBSD jman, FreeBSD jman, Linux JM, xjman
- てゆか、昔のほうがプロジェクト間の連携が密だったんじゃない?

昨今

- 翻訳プロジェクトはいっぱいある
- 国際化されたソフトウェア本体の配布元が翻訳も配布しているケースもけっこうある
 - GNU とか GNOME とか KDE とか LibreOffice とか Mozilla とか……いろいろ
- GNOME は「統合デスクトップ環境」
 - 翻訳も一貫したものが求められるはず
 - 人間は GNOME だけで生活できるか?
 - 一部の人間は GNU Emacs だけで生活できるけど、GNOME は難しくない?
 - 「GNOME Emacs」を作れば解決 (ホントか?)
 - yes(1) とか yes(1) みたいなふつーの Unix コマンドも必要でしょ
 - GTKYes みたいなのをいろいろ作れば解決 (ホントか?)
- ディストロには GNOME 以外にもいろんな翻訳プロジェクトの成果が取り込まれてる
 - カタカナ語の「ー」とか「・」とか
 - 訳語等のポリシーがはっきり決まっていなかったり文書化されていなかったりするケース
 - GNOME 翻訳のなかにも、上流があるモジュールがある
 - freedesktop.org とか→プロジェクト間の連携が必要なネタじゃないの
 - あえて文体統一をしないケース: JM が *BSD 方面から取り込んだマニュアル
- 翻訳作業そのものが重複しているケース
 - 例: Ubuntu の Launchpad Translations と、上流

- 上流への還元の手順も決まってない?
- でかい作業をやる時は Launchpad をチェックしよう (松澤さん)
- 同じ起源を持つドキュメントを、複数プロジェクトが独立に翻訳・保守するケース
 - 例: GNU とか BSD 由来のマニュアル
 - tcsh の man 翻訳は、JM メンバーが FreeBSD jpman の ML に参加して共同作業した
- 関連する翻訳作業が複数プロジェクトでおこなわれるケース
 - 例: GNU もののコマンドのオンラインマニュアル (JM) とメッセージ (TP)
- JM は各種マニュアルを一まとめにしているので、本体とのバージョンが合わない問題
 - なんとかしなければ的な動き (JM とか Debian とか)
 - 上流にマージする? (JF?)

プロジェクト間の連携は十分か

- 現在、JM で bash(1) マニュアル翻訳のレビュー大会絶賛開催中
<https://github.com/emasaka/bash-jman>
 - Linux ユーザーで関心ある人多いんじゃない?
 - bash のメッセージ (--help 出力とか) と共通部分もあり
- 「こんなことやってます」「こんな(普遍的な)問題があります」てなことを気軽にやりとりできる場
 - Doc-ja はそういう場になってる?→現状になってない
 - プロジェクト間の連携みたいなのは、両方のプロジェクトに参加してる人におまかせ的な

個人的な野望

- いろんなプロジェクトのひとと翻訳イベントやりたい
- いろんなプロジェクトのひとと宴会やりたい
- 生き別れの兄弟をもっと引き合わせたい
- プロジェクト合同で翻訳ネタで薄い本作りたい
 - 乗算が非可逆な何か¹じゃなくて、でぶ専みたいなの
- ようは、コミュニケーションじゅーよー
 - 懇親会では名札をつけよう

かずはまさんメモ

自己紹介

- Kentaro KAZUHAMA (kazken3)
- Ubuntu Japanese Translators Team の人。いっぱいじんです
 - <https://wiki.ubuntulinux.jp/Translation>
 - <https://launchpad.net/~kazken3>
- たまに Upstream のお手伝いもしています

1 テオシロウ「 とか </td> みたいなゴミは付けるなクソ野郎」くみちょ「ああっ、どれもこれも invalid に……。僕、汚されちゃったよう」的なのは、それはそれで嫌いじゃありませんが

Ubuntu の翻訳サイクル

- 各リリースのほしい2ヶ月ぐらい前からじわじわと翻訳作業に入る
 - User Interface Freeze あたりからでないと Upstream から上書きされることもある
- Ubuntu のリリースシリーズを中心に翻訳
 - launchpad(lp)にはさまざまなアプリケーションが登録されていて翻訳可能
 - Ubuntu で main となるアプリケーションを中心に翻訳
 - main に含まれていれば Upstream のアプリも翻訳する(未訳とか誤訳など)
 - ここで Upstream との差分が発生する
- とにかくひたすら頑張る。リリース2週前の Language Pack Translation Deadline まで頑張る
- Language Pack Translation Deadline までいったらリリースノートなどの翻訳作業
 - ギリギリまで FIX しない。しかも長い
- リリース。おつかれさま
- 残り作業で upstream の対応。ただしあまりできていないのが現状

Launchpad のメリットデメリット

- メリット
 - Web インタフェース。こりゃらくちん
 - 進捗状況もある程度わかる
- デメリット
 - 誰でも翻訳できるゆえに、セルフコミットが多発した
 - Ubuntu Japanese Translators のみがコミットできるよう制限された。
 - 必ず review を通す流れになった。通さないと suggestion のまま。
 - review は Translators がやらないといけない。だから suggestion を探す旅に出ないといけない

課題

- 翻訳人口の減少 * 登録は300人弱。内チームメンバーは27人、さらにアクティブなのは10名もない?
 - 11.10(Oneiric Ocelot)では main のうち 88%の翻訳率。33位で年々低下。
 - 80%を切ると～語に対応と言われない(いちおう)
 - <http://people.canonical.com/~dpm/stats/ubuntu-11.10-translation-stats.html>
 - コア翻訳者に依存する形が強くなっている
 - 地道な採用活動。
- Upstream への還元不足
 - 手順が明確化されていない
 - 簡単なレベルのものはあります <https://wiki.ubuntu.com/Translations/Upstream>
 - Upstream が複数。それぞれ手順は異なる(gnome,kde,transifex...)
 - そもそも Upstream はどうなっているの?誰に依頼すればいい?が不明確。
- 一括対処の動きが遅い
 - 長音対処など、一括して対応がやりづらい
 - gnome のようにまとめて po を取得とかができない?

- できる、、、はず。
<https://wiki.ubuntu.com/Translations/KnowledgeBase/Exporting#Full>
- 現在は問題が見つかった都度対処
- 後継者不足
 - いまはコア翻訳者だけが翻訳したとしても何とかなっている状況
 - ただしいずれ破綻する?
 - ドキュメント周りが全く進まなくなった
 - 全体的な課題?
- Upstream との関係
 - Upstream との交流はじわじわとすすんでる
 - Upstream での成果と Ubuntu での活動があれば Ubuntu Translation team に入れます!
 - 他の distro はどうなの?
 - 日本での upstream との関係が記載したページがあったらいいね
- その他 (個人の感想です)
 - 個人に結びついた翻訳サイトもできている (e.g. crowdin.net)
 - android のようなアプリケーションも現状は個人での翻訳
 - 個人中心の時代来てる?
 - Web アプリ (CMS) とかはどうなの?

Doc-ja の活動について

今年 Doc-ja でやったこと

過去の資料は、Doc-ja Archive Project の Wiki にあります。

- 2011/3/5 OSC 2011Tokyo/Spring: 翻訳/L10n BoF
- 2011/4/16 OSC 2011Kansai@Kobe: 翻訳/L10n BoF (「敷居を下げたい」→不発?)
- 2011/7/15~16 OSC 2011Kansai@Kyoto: ブース展示と LT
- 2011/8/20 OSC 2011 Nagoya: セミナー (翻訳入門)
- 2011/10/1 OSC 2011 Hiroshima: セミナー (翻訳入門)
- 2011/11/20 OSC 2011Tokyo/Fall: 翻訳/L10n BoF ←今ここ

協力者絶賛募集中

- 「イベントやりたい」「ポータルサイト作りたい」と野望を語るだけで、できてない
- 遠方にはなかなか行けない
- 時間も技量も文才も経験値もない
- 人前に出るのは苦手
- 僕には友達が少ないってゆーか、いない